

# そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵/岩見沢市



## ～炭鉄港に関する情報拠点～

2009（平成21）年に開設された市民団体が運営する「炭鉱の記憶」の拠点施設です。炭鉱以外の地域情報のインフォメーションセンターでもあり、カフェコーナーやグッズ販売コーナーもあります。  
併設する1909（明治42）年建築の石蔵では炭鉱に関する様々な催事が行われております。

住所	〒068-0021 岩見沢市1条西4丁目3
公開状況	公開
開館時間	10:30～17:30
休館日	月・火曜日（祝日は開館し、翌日休館）
駐車場	有（数台分）
アクセス （自動車）	札幌から約36km 約33分 【道央自動車道 岩見沢IC降 約13分】
アクセス （公共交通機関）	札幌から約30分 JR函館本線 岩見沢駅降車～徒歩 約5分
問い合わせ	NPO炭鉱の記憶推進事業団 電話：0126-24-9901 E-mail：infomc@soratan.com
URL	<a href="http://www.mc.soratan.com/index.html">http://www.mc.soratan.com/index.html</a>

# 旧北海道炭礦鉄道岩見沢工場（岩見沢レールセンター） / 岩見沢市



## ～北海道近代化を担った鉄道の要所～

開拓使によって建設された幌内鉄道は、1882（明治15）年に手宮～幌内間  
が全通し1889（明治22）年に道庁理事官であった旧薩摩藩士・堀基が設立  
した北海道炭鉱鉄道会社に払い下げられました。

1889（明治32）年に、その鉄道財産の中にあつた手宮駅（小樽市）に隣接  
した手宮工場の分工場として岩見沢製作所が設置されました。

1903（明治36）年には岩見沢が本工場となり、1904（明治37）年には北炭  
本社の岩見沢移転でさらに拡張されました。しかし、鉄道国有化後は、  
1906（明治39）年に旭川工場の分工場となり、1915（大正4）年に苗穂工  
場岩見沢派出所となった後に廃止されました。

1945（昭和20）年に、レールセンターの前身である岩見沢材修場が開設さ  
れ、現在も北海道旅客鉄道（株）が使用しております。建物壁面には北炭の  
社章（コバルト色の円の中に赤い星）が残っております。

住所 〒068-0035 岩見沢市有明町中央

公開状況 外観のみ観覧可能

アクセス  
（自動車） 札幌から約36km 約30分  
【道央自動車道 岩見沢IC降 約10分】

アクセス  
（公共交通機関） 札幌から約25分  
JR函館本線 岩見沢駅降車～徒歩 約5分

問い合わせ 北海道旅客鉄道鉄道事業本部  
電話：011-700-5800



# 朝日駅舎/岩見沢市



## ～石炭運搬と住民生活を支えた駅舎～

地元住民の請願によって1919（大正8）年に開駅。1940（昭和15）年に朝日炭鉱の鉱業権を日本硝子（株）が取得し本格開発を行うとともに、石炭積出駅としての性格を強めていきました。

1954（昭和29）年に朝日炭鉱の経営権が製鉄原料輸送（株）に移り労使協調路線で再建に踏み出したことで出炭量が増加傾向となりました。1955（昭和30）年には選炭機増設工事が行われ、ホッパー（貯炭槽）も木造から鉄骨造になるほど出炭増加に備えた設備投資が行われたことに対応して、1956（昭和31）年に駅舎を改修しました。1974（昭和49）年に朝日炭鉱が閉山し、1978（昭和53）年に無人駅化、1985（昭和60）年万字線廃止に伴い廃駅となりました。

1999（平成11）年、駅舎周辺が万字線鉄道公園として整備されB20形蒸気機関車が東山公園から移設されました。

住所 〒068-3185 岩見沢市朝日町176

公開状況 外観のみ観覧可能

アクセス（自動車） 札幌から約44km 約35分  
【道央自動車道 岩見沢IC降 約15分】

アクセス（公共交通機関） 札幌から約54分  
JR函館本線 岩見沢駅降車～中央バス 旧朝日駅前降車

問い合わせ 岩見沢市建設部公園緑地環境課公園緑地維持係  
電話：0126-23-4111

## ～北海道近代化を担った鉄道の要所～

岩見沢操車場は、1922（大正11）年に建設が始まった貨車操車場で、1926（大正15）年には5線群からなる操車場が完成し平均1,617両/日（現車）を操車するに至りました。

操車能力は、1953（昭和28）年～1957（昭和32）年の改良工事で1,800両/日に1959（昭和34）年～1962（昭和37）年の志文～岩見沢間増線など第2期改良工事で2,500両/日に増強されました。

函館本線・室蘭本線の着発が平面で支障しないよう完全抱き込み式操車場とすべく計画されておりましたが、工事が進捗するにつれ貨物輸送量、特に石炭輸送が減少したため計画は未遂に終わりました。

1968（昭和43）年の函館本線小樽～滝川間電化開業に合わせて、岩見沢第二機関区が開設されましたが、石炭貨物輸送と電気機関車牽引列車の廃止により1994（平成6）年に廃止されました。

住所	岩見沢市大和町 1条1丁目～8丁目、同2条2丁目・3条3丁目・4条4丁目・4条7丁目
公開状況	公開
アクセス (自動車)	札幌から約36km 約25分 【道央自動車道 岩見沢IC降 約5分】
アクセス (公共交通機関)	札幌から約40分 JR函館本線 岩見沢駅降車～徒歩 約15分
問い合わせ	岩見沢市企画財政部企画室企画調整係 電話：0126-23-4111